

2014年度決算説明資料

出光興産株式会社

2015年5月7日

1. 2014年度決算

(1) 概要

(2) セグメント別情報

2. 2015年度業績予想

(1) 概要

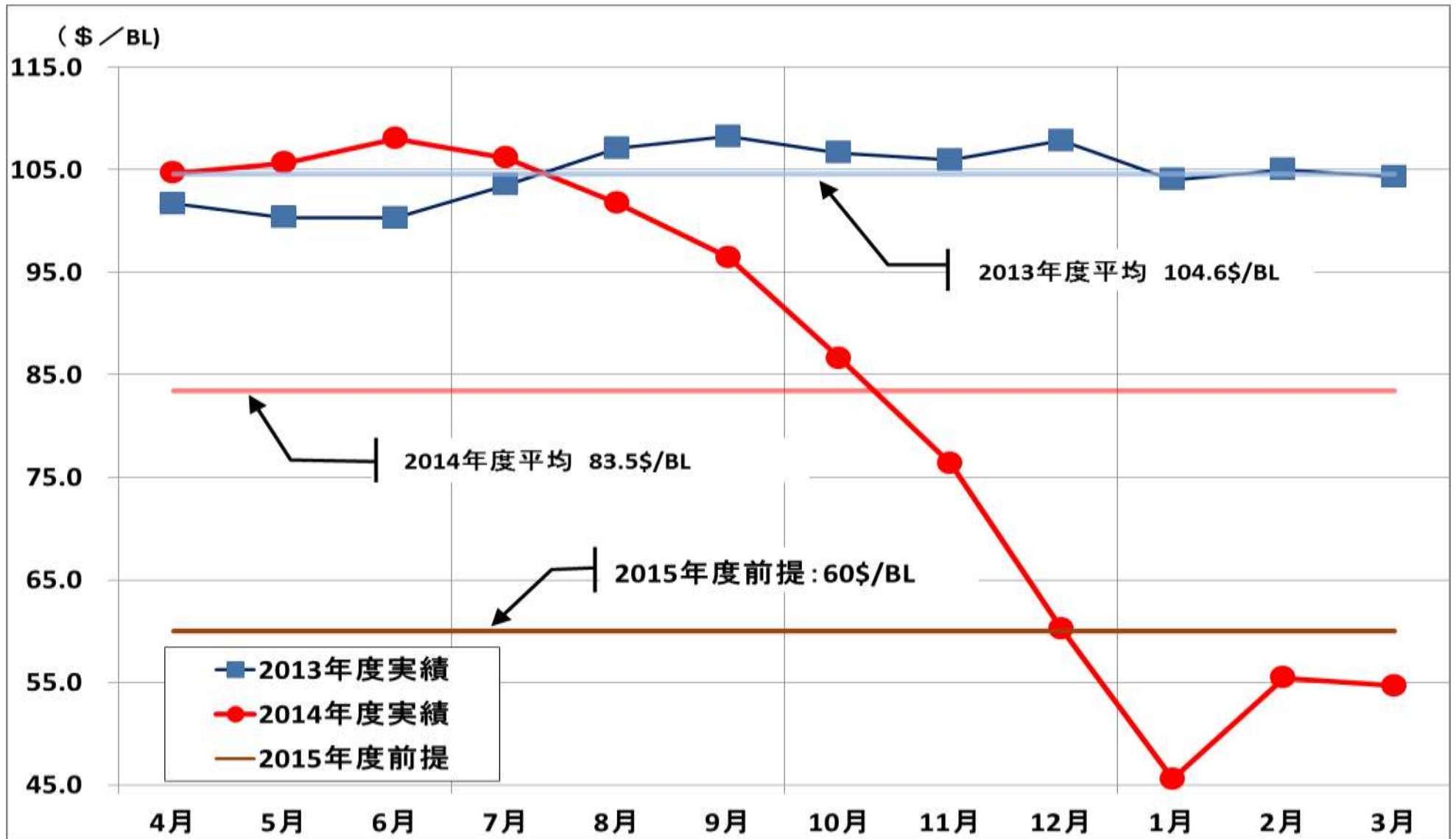
(2) セグメント別情報

3. 第4次中期経営計画進捗状況

4. 参考資料

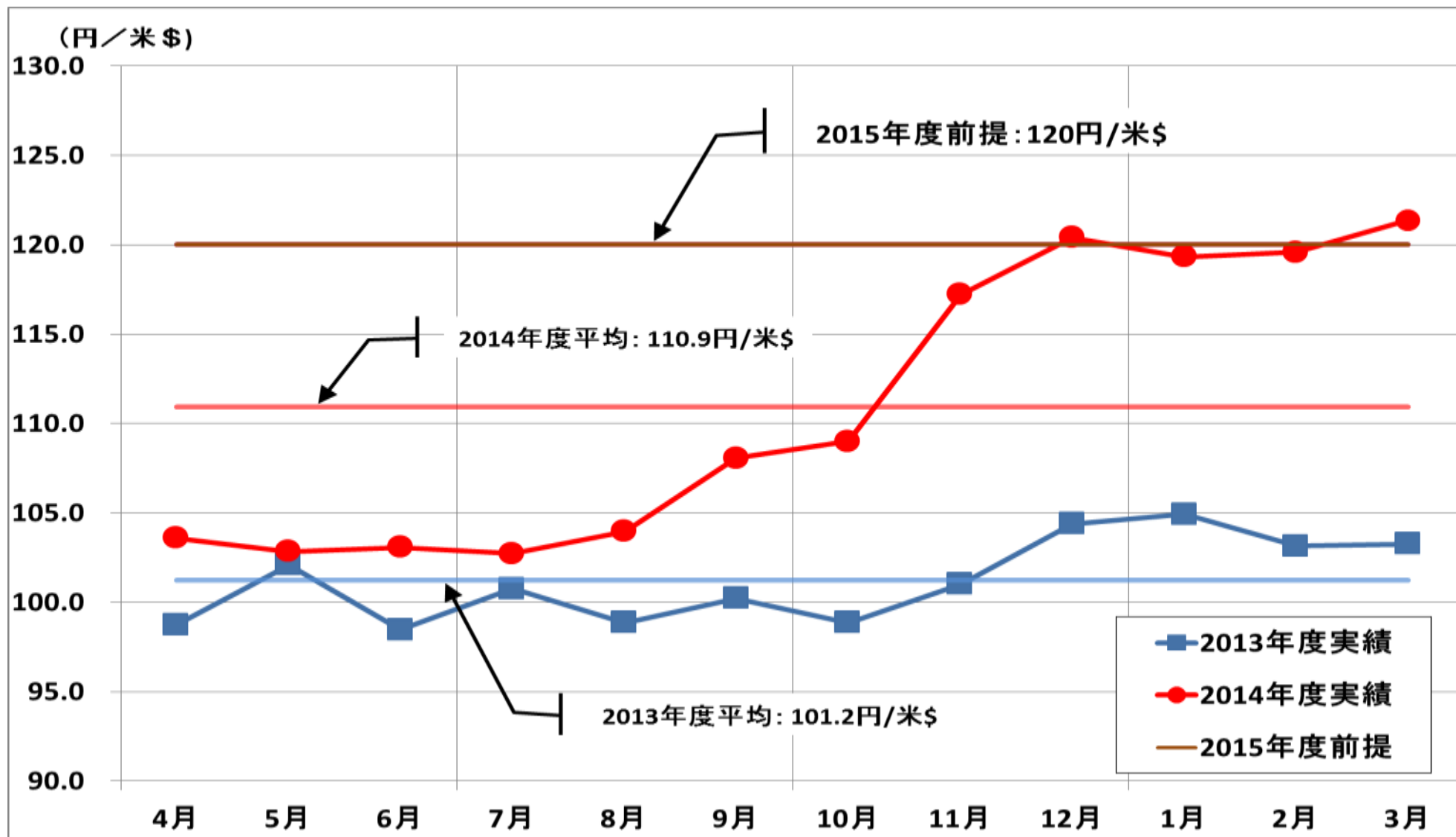
原油価格の推移

【ドバイ原油価格の月次推移と業績予想前提水準】



円／米\$為替レート(TTS)の推移

【円／米\$為替レート(TTS)の月次推移と業績予想前提水準】



【2014年度決算】

- 石油製品のマージンは拡大した一方、石油化学製品のマージン縮小や石油開発事業の減益などにより、在庫除きの営業利益は285億円(前年比▲68億円)となった。
- 原油価格の急落等により、在庫評価影響は▲1,333億円(前年比▲1,761億円)となり、資源事業を中心に減損損失を計上した。これらの結果、営業利益は▲1,048億円(前年比▲1,830億円)、当期純利益は▲1,380億円(前年比▲1,743億円)となった。

【2015年度業績予想】

- 石油製品及び石油化学製品については、マージン確保に加え原油価格下落によるコスト減などにより収益の最大化を図る。また、資源事業は厳しい状況が続くものの、コスト削減や投資厳選などにより収益確保を目指す。
- 特別損益では、3月に公表した豪州ボガブライ鉱山の一部権益売却益の計上を予定。
- 2015年度業績予想は、営業利益920億円(前年比+1,968億円)、当期純利益560億円(前年比+1,940億円)を見込む。

1. 2014年度決算

(1) 概要

① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
原油価格(ドバイ)	104.6	83.5	▲21.1	▲20.2%
原油価格(ブレント)	108.7	99.0	▲9.7	▲8.9%
ナフサ価格(通関)	939	817	▲121	▲12.9%
為替レート(TTS)	101.2	110.9	+9.7	+9.6%

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格

② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
売上高	50,350	46,297	▲4,053	▲8.0%
営業利益	782	▲1,048	▲1,830	—
(在庫影響)	(429)	(▲1,333)	(▲1,761)	—
(在庫影響除き)	(353)	(285)	(▲68)	(▲19.4%)
営業外損益	37	▲28	▲65	—
経常利益	819	▲1,076	▲1,895	—
特別損益	▲9	▲695	▲686	—
当期純利益	363	▲1,380	▲1,743	—

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

(2)セグメント別情報

①営業利益

(単位：億円)

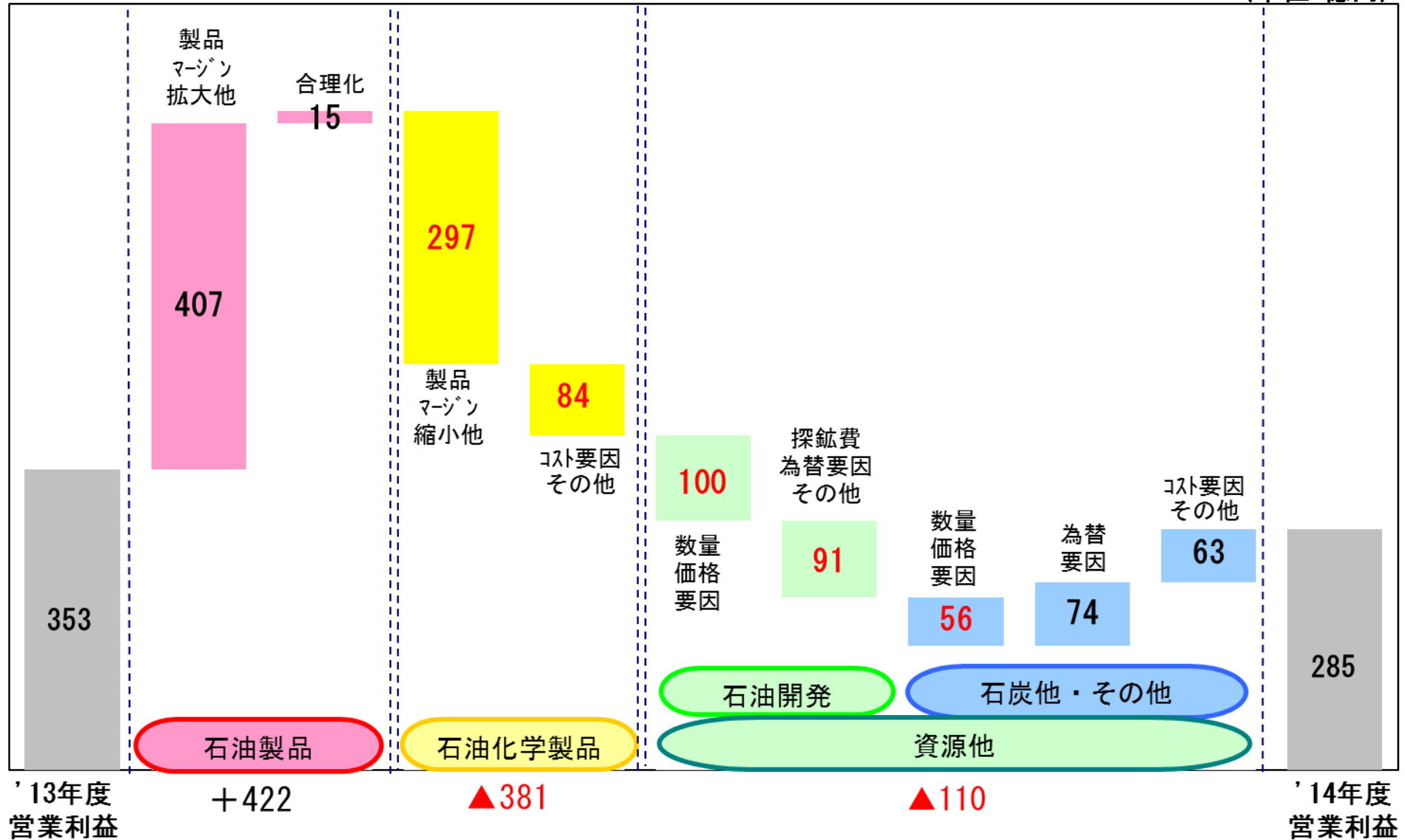
	'13年度実績	'14年度実績	増減	
石油製品	168	▲1,116	▲1,285	—
(在庫影響除き)	(▲242)	(180)	(+422)	—
石油化学製品	365	▲71	▲436	—
(在庫影響除き)	(346)	(▲34)	(▲381)	—
資源	266	131	▲135	▲50.8%
(石油開発)	(325)	(134)	(▲191)	(▲58.7%)
(石炭他)	(▲59)	(▲4)	(+56)	—
その他	25	33	+8	+33.4%
調整額	▲41	▲24	+17	—
合計	782	▲1,048	▲1,830	—
(在庫影響除き)	(353)	(285)	(▲68)	(▲19.4%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報

②営業利益の増減分析(前年度比・在庫影響除き)

(単位:億円)



2. 2015年度業績予想

(1) 概要

① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	14年度実績	15年度予想	増 減	
原油価格(ドバイ)	83.5	60.0	▲23.5	▲28.1%
原油価格(ブレント)	99.0	61.0	▲38.0	▲38.4%
ナフサ価格(通関)	817	524	▲293	▲35.9%
為替レート(TTS)	110.9	120.0	+9.1	+8.2%

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格

② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	14年度実績	15年度予想	増 減	
売上高	46,297	43,500	▲2,797	▲6.0%
営業利益	▲1,048	920	1,968	—
(在庫影響)	(▲1,333)	(0)	(+1,333)	—
(在庫影響除き)	(285)	(920)	(+635)	(+223.0%)
営業外損益	▲28	▲30	▲2	—
経常利益	▲1,076	890	1,966	—
特別損益	▲695	20	715	—
当期純利益	▲1,380	560	1,940	—

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

※2015年度予想の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

(2)セグメント別情報

①営業利益

(単位：億円)

	14年度実績	'15年度予想	増 減	
石油製品	▲1,116	800	+1,916	—
(在庫影響除き)	(180)	(800)	(+620)	(+344.4%)
石油化学製品	▲71	155	+226	—
(在庫影響除き)	(▲34)	(155)	(+189)	—
資 源	131	▲45	▲176	—
(石油開発)	(134)	(10)	(▲124)	(▲92.6%)
(石炭他)	(▲4)	(▲55)	(▲51)	—
そ の 他	33	45	+12	+37.6%
調 整 額	▲24	▲35	▲11	—
合 計	▲1,048	920	+1,968	—
(在庫影響除き)	(285)	(920)	(+635)	(+223.0%)

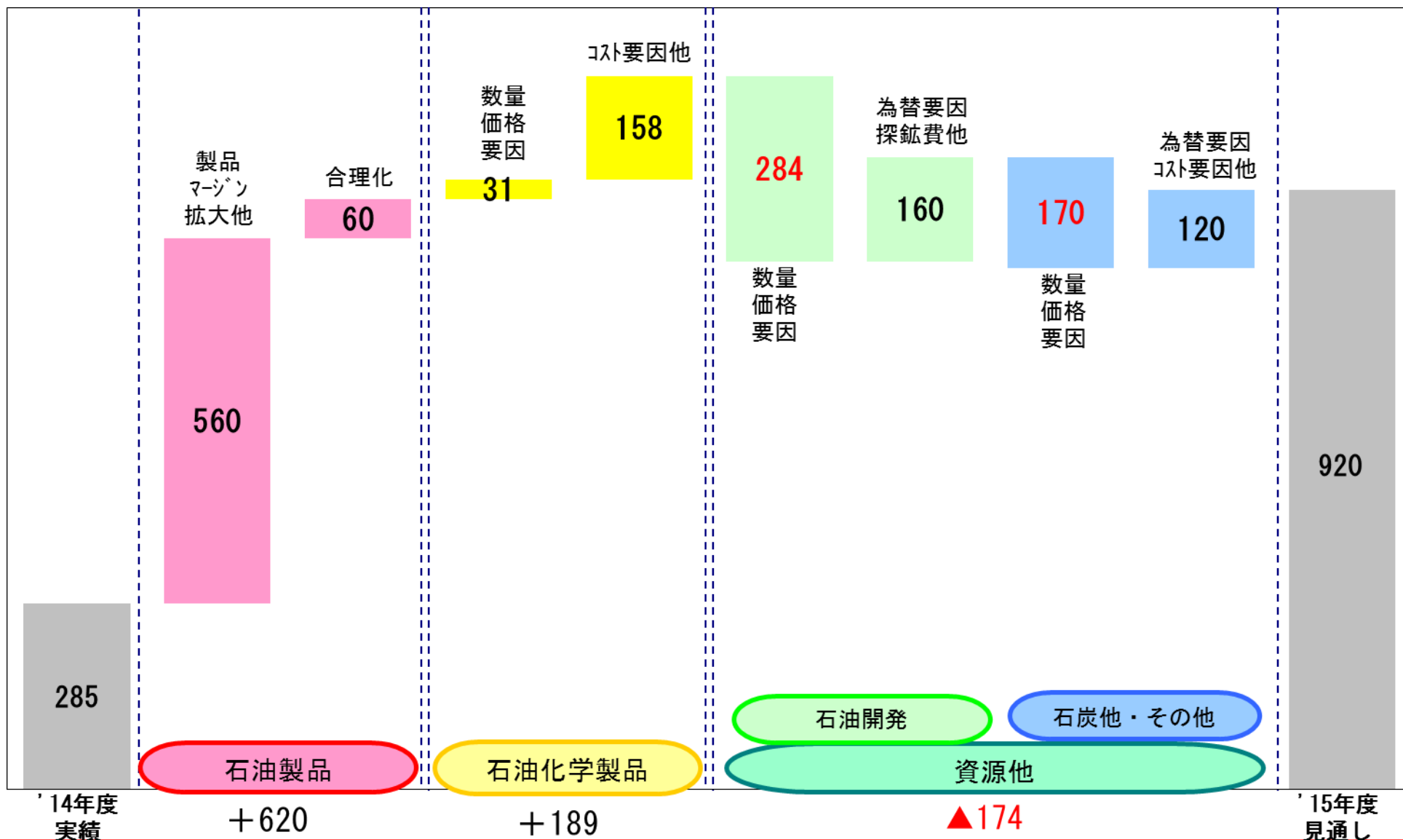
※資源に含まれる「石油開発」及び「海外石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報



②営業利益の増減分析(前年度比・在庫影響除き)

(単位:億円)



(3) 配当方針

■当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と考えております。

既存事業の強化と将来の事業展開に向けた戦略投資、財務体質の改善及び業績のバランスを勘案し、安定的な配当を実施してまいります。

■2014年度の期末配当については、1株当たり25円としました。

通期では1株当たり50円の配当となります。

また、次期の配当(年間配当)につきましても1株当たり50円を予定しております。

【1株あたり配当金】

	第2四半期末	期末	年間
2014年度(実績)	25円	25円	50円
2015年度(予定)	25円	25円	50円

3. 第4次中期経営計画進捗状況

第4次中期経営計画進捗状況

出光

① 経営指標

(単位: 億円、%)	2014年度	2015年度			
	実績	中期計画	今回予想	中期比	2014年比
売上高	46,297	46,400	43,500	▲ 2,900	▲ 2,797
営業利益※1	▲ 935	1,500	1,010	▲ 490	1,945
(営業利益内訳※2)					
基盤	120	640	860	220	740
資源	122	540	▲ 55	▲ 595	▲ 177
高機能	171	360	230	▲ 130	59
共通	▲ 15	▲ 40	▲ 25	15	▲ 10
当期利益	▲ 1,380	530	560	30	1,940
投下資本営業利益率*	-5.6%	8.6%	6.0%	-2.6%	11.6%
自己資本比率	21.5%	24.8%	22.7%	-2.1%	1.2%
ネットD/Eレシオ	1.5	1.2	1.4	0.2	-0.1

※1: 営業利益: 持分法投資損益・受取配当金を含む

※2: 営業利益内訳: 在庫影響除き、持分法投資損益・受取配当金を含む

* 投下資本: 自己資本+有利子負債+少数株主持分

【主要前提条件】

ドバイ原油価格	83.5\$/bbl	105.0\$/bbl	60.0\$/bbl	▲45.0\$/bbl	▲23.5\$/bbl
為替(円/U\$)	110.9円/U\$	90.0円/U\$	120.0円/U\$	+30.0円/U\$	+9.1円/U\$

②戦略課題の進捗

		これまでの取り組み	2015年度以降の取り組み	
基盤事業 燃料油 化学品 再生可能エネルギー		<ul style="list-style-type: none"> ■ 徳山製油所停止、3製油所+徳山事業所体制確立 ■ 千葉での三井化学との協業継続、徳山競争力強化 ■ ニソン製油所プロジェクトの推進(2013年7月建設開始) ■ カナダ・ペトロガス社への資本参加、北米LPG輸出開始 ■ メガソーラー発電の開始(門司・姫路・福島) ■ 高知バイオマス発電所営業運転開始(2015年4月) ■ 北海道・東北の地熱調査開始、滝上バイナリー意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構造改革、高度化法二次対応 ■ ニソン製油所プロジェクトの推進 ■ 千葉・周南コンビナートでの連携強化 ■ カナダでのガス事業検討継続(LPG、LNG) ■ 再生エネルギー事業の拡大 ■ 合理化・コスト削減の継続 	
	資源事業 石油開発 石炭 ウラン		<ul style="list-style-type: none"> ■ クナル、Hノルド(ノルウェー)油田の生産開始 ■ エンシャム坑内掘り拡張 ■ ボカブライ鉱山強化(生産拡大)、一部権益売却 ■ インドネシア マリナウ鉱山一部権益取得(30%) ■ 合理化・コスト削減の進捗(2012年対比▲70億円) ■ シガーレイク鉱山の生産開始(2014年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石油開発生産拡大(40千BD) ■ 投資抑制等によるCF改善 ■ ボカブライ鉱山の生産拡大、高品位炭の生産開始 ■ エンシャム坑内掘り拡張の継続 ■ 合理化・コスト削減の継続
		高機能材料事業 潤滑油 機能材料 電子材料 アグリバイオ		<ul style="list-style-type: none"> ■ インド・ベトナムの潤滑油自社工場での製造、販売開始 ■ 石化機能材の競争力強化(汎用PC台湾移管等) ■ 有機EL中小型ディスプレイ製造メーカーへの販売拡大 ■ SDSバイオテック社との連携強化 (インド販売網、中国製造拠点、研究開発)

第4次中期経営計画進捗状況

③合理化の状況

※2012年度対比の合理化の 目標と実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 当初目標	2015年度 今回目標
石油製品 ・設備管理の効率化 ・製油所の省エネ・合理化 ・販売、物流部門の合理化 他	5億円	10億円	60億円	60億円
石油化学製品 ・設備管理の効率化 他	5億円	10億円	20億円	20億円
資源 ・豪州石炭鉱山の効率化 ・石油開発操業の合理化 他	40億円	70億円	70億円	90億円
間接部門コスト ・管理部門等の合理化 他	30億円	40億円	50億円	50億円
合計	80億円	130億円	200億円	220億円

第4次中期経営計画進捗状況

④投資

(単位:億円)

		2013 -15年度	2013年度	2014年度	2015年度	2013 -15年度	
		中期計画	実績	実績	見通し	見通し	中計対比
戦略 区分別	基盤事業	1,460	846	311	613	1,770	310
	資源事業	1,590	639	761	270	1,670	80
	高機能材事業	350	92	57	31	180	▲ 170
	戦略投資計	3,400	1,576	1,129	914	3,620	220
	維持更新投資	1,100	328	328	364	1,020	▲ 80
	合計	4,500	1,905	1,457	1,278	4,640	140

減価償却費※	2,400	664	701	894	2,260	▲ 140
--------	-------	-----	-----	-----	-------	-------

※のれん償却額を含む

4. 參考資料

1. 決算関連

(1) 2014年度決算(2/3公表対比)

(2) セグメント別売上高

(3) 特別損益明細

(4) 減損損失の内訳

(5) 連結貸借対照表

(6) 連結キャッシュフロー計算書

2. 感応度

3. 販売と生産

(1) 販売・生産数量実績

(2) 販売・生産数量見通し

4. 為替

5. 市況

6. 製油所稼働の状況

7. SS数推移

1. 決算関連

(1) 2014年度決算(2/3公表対比)

①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	2/3公表	'14年度実績	増減	
原油価格(トバイ)	82.7	83.5	+0.8	+1.0%
原油価格(フレント)	99.0	99.0	0.0	0.0%
ナフサ価格(通関)	820	817	▲3	▲0.4%
為替レート(TTS)	110.9	110.9	+0.0	+0.0%

※フレント価格は暦年(1~12月)の平均価格

②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	2/3公表	'14年度実績	増減	
売上高	45,400	46,297	897	+2.0%
営業利益	▲1,200	▲1,048	152	—
(在庫影響)	(▲1,370)	(▲1,333)	(+37)	—
(在庫影響除き)	(170)	(285)	(+115)	(+67.6%)
営業外損益	▲20	▲28	▲8	—
経常利益	▲1,220	▲1,076	144	—
特別損益	▲300	▲695	▲395	—
当期純利益	▲980	▲1,380	▲400	—

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

1. 決算関連

(1) 2014年度決算(2/3公表対比)

③セグメント別営業利益

(単位：億円)

	2/3公表	14年度実績	増 減	
石油製品	▲1,270	▲1,116	+154	—
(在庫影響除き)	(100)	(180)	(+80)	(+80.0%)
石油化学製品	▲40	▲71	▲31	—
(在庫影響除き)	(▲40)	(▲34)	(6)	—
資 源	130	131	1	+0.6%
(石油開発)	(135)	(134)	(▲1)	(▲0.4%)
(石炭他)	(▲5)	(▲4)	(+1)	—
その他	20	33	13	63.5%
調整額	▲40	▲24	16	—
合 計	▲1,200	▲1,048	152	—
(在庫影響除き)	(170)	(285)	(+115)	(+67.6%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

1. 決算関連

(2)－①2014年度セグメント別売上高

(単位：億円)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
石油製品	40,747	36,939	▲3,808	▲9.3%
石油化学製品	6,751	6,390	▲362	▲5.4%
資源	2,354	2,411	+57	+2.4%
（石油開発）	(976)	(1,020)	(+43)	(+4.5%)
（石炭他）	(1,377)	(1,391)	(+13)	(+1.0%)
その他・調整額	498	558	+60	+12.0%
合計	50,350	46,297	▲4,053	▲8.0%

1. 決算関連

(2)－②2015年度セグメント別売上高見通し

(単位：億円)

	14年度実績	'15年度予想	増減	
石油製品	36,939	35,600	▲1,339	▲3.6%
石油化学製品	6,390	4,600	▲1,790	▲28.0%
資源	2,411	2,600	+189	+7.8%
（石油開発）	(1,020)	(1,020)	(+0)	(+0.0%)
（石炭他）	(1,391)	(1,580)	(+189)	(+13.6%)
その他・調整額	558	700	+142	+25.5%
合計	46,297	43,500	▲2,797	▲6.0%

1. 決算関連

(3) 特別損益明細

(単位：億円)

	'13年度	'14年度	増減
固定資産売却益	12	74	+63
投資有価証券売却益	28	—	▲28
受取保険金	205	—	▲205
その他	28	11	▲17
特別利益計	273	85	▲188
減損損失	191	705	+515
固定資産売却損	5	10	+5
固定資産除却損	27	48	+21
その他	59	17	▲43
特別損失計	282	780	+498
特別損益	▲9	▲695	▲686

1. 決算関連

(4) 減損損失の内訳

減損損失705億円の主な内容は、資源事業で計上した658億円。

内訳は以下のとおり。

単位：億円

	金額	対象資産等
豪州石炭事業	160	鉱山設備等
英領北海	459	のれん及び油田の生産設備等
ノルウェー領北海	38	油田の生産設備等
石油開発事業	497	
その他	48	SS資産等
合計	705	

1. 決算関連



(5) 連結貸借対照表

(単位:億円)

	'14/3末	'15/3末	増減		'14/3末	'15/3末	増減
現金・預金	1,615	1,130	▲486	買掛債務	4,386	3,666	▲720
売掛債権	4,189	3,217	▲972	短期借入金等	4,945	4,035	▲909
たな卸資産	7,174	5,138	▲2,036	その他流動負債	3,690	3,575	▲114
その他流動資産	1,247	1,365	+118	流動負債計	13,020	11,276	▲1,744
				長期借入金等	5,845	6,027	+181
				その他固定負債	3,647	3,703	+56
流動資産計	14,225	10,849	▲3,375	固定負債計	9,492	9,730	+238
有形固定資産	10,876	11,357	+481	負債合計	22,513	21,006	▲1,507
(土地)	5,915	5,895	▲20	株主資本	5,395	3,917	▲1,478
(その他)	4,961	5,463	+502	その他の包括利益 累計額	1,629	1,955	+326
その他固定資産	4,850	5,103	+253	少数株主持分	414	431	+18
固定資産計	15,726	16,461	+735	純資産計	7,438	6,304	▲1,134
総資産計	29,951	27,310	▲2,641	負債・純資産計	29,951	27,310	▲2,641

有利子負債計	10,819	10,062	▲757
自己資本比率	23.5%	21.5%	▲1.9%

1. 決算関連

(6) 連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	'13年度	'14年度	増減
営業活動によるCF	501	1,729	+1,228
税金等調整前純利益	811	▲1,771	▲2,581
減価償却費	631	667	+36
売上債権・たな卸資産の増減	▲493	3,179	+3,672
その他	▲448	▲347	+101
投資活動によるCF	▲1,798	▲1,311	+487
有形固定資産の取得	▲945	▲1,117	▲172
その他	▲853	▲194	+659
財務活動によるCF	1,611	▲983	▲2,594
借入金等の増減	1,712	▲904	▲2,615
その他	▲100	▲79	+21
現預金等に係る換算差額等	121	77	▲44
現預金等の増減額	435	▲488	▲923
現預金等の期首残高	1,164	1,600	+435
現預金等の期末残高	1,600	1,112	▲488

2. 感応度

(1) 原油価格1ドル/バレル上昇影響

石油製品	精製用燃料費増加等	▲ 4 億円
	在庫評価影響の増	+ 2 6 億円
	計	+ 2 2 億円
石油開発		+ 1 2 億円

(2) 為替1円/ドル 円高影響

石油製品	精製用燃料費減少等	+ 2 億円
	在庫評価影響の減	▲ 1 2 億円
	計	▲ 1 0 億円
石油開発		—

※上記の他に、資源事業等において、ノルウェークローネ、豪ドル、英ポンド等の為替変動影響を受けます。

3. 販売と生産

(1)－①販売数量実績(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
			▲	%
ガソリン	8,496	8,199	▲297	▲3.5%
(ハイオク)	987	903	▲84	▲8.5%
(レギュラー)	7,509	7,296	▲213	▲2.8%
ナフサ	261	300	+39	+14.9%
ジェット燃料	1,667	1,655	▲13	▲0.8%
灯油	3,155	2,950	▲205	▲6.5%
軽油	5,982	6,153	+171	+2.9%
A重油	2,918	2,863	▲55	▲1.9%
C重油	3,452	2,720	▲732	▲21.2%
国内燃料油販売計	25,931	24,840	▲1,092	▲4.2%
輸出燃料油	4,020	2,775	▲1,243	▲31.0%
(一般輸出)	1,037	587	▲450	▲43.4%
燃料油販売計	29,951	27,615	▲2,336	▲7.8%

3. 販売と生産

(1)－②販売数量実績(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
石油化学製品計	3,248	3,143	▲105	▲3.2%
(基礎化学品)	3,191	3,096	▲96	▲3.0%
(機能製品計)	56	47	▲9	▲16.4%

(1)－③販売数量実績(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
潤滑油	1,032	1,048	+16	+1.6%

※海外ライセンス販売先を含む

3. 販売と生産

(1)－④石油開發生産量(ガス含む)

(単位：千BOED、%)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
ノルウェー	24.3	26.2	+1.9	+7.7%
英国	2.8	2.5	▲0.3	▲10.9%
ベトナム	0.4	0.4	+0.0	+7.5%
生産量合計 (千BOED)	27.4	29.0	+1.6	+5.8%
生産量合計 (千BOE)	10,012	10,590	+578	+5.8%

(1)－⑤石炭生産量

(単位：千t、%)

	'13年度実績	'14年度実績	増減	
エンシャム	4,025	3,456	▲569	▲14.1%
マッセルブルック	1,244	1,623	+379	+30.5%
ボガブライ	4,656	5,537	+881	+18.9%
タラウオンガ	654	658	+4	+0.6%
生産量 合計	10,579	11,274	+695	+6.6%

※石油開発及び石炭の生産量は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および豪州石炭は12月決算

3. 販売と生産

(2) - ①販売数量見通し(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	'14年度実績	'15年度予想	増減	
ガソリン	8,199	8,300	+101	+1.2%
(ハイオク)	903	910	+7	+0.8%
(レギュラー)	7,296	7,390	+94	+1.3%
ナフサ	300	200	▲100	▲33.3%
ジェット燃料	1,655	1,530	▲125	▲7.5%
灯油	2,950	3,000	+50	+1.7%
軽油	6,153	6,200	+47	+0.8%
A重油	2,863	2,790	▲73	▲2.5%
C重油	2,720	2,480	▲240	▲8.8%
国内燃料油販売計	24,840	24,500	▲340	▲1.4%
輸出燃料油	2,775	3,160	+385	+13.9%
(一般輸出)	587	890	+303	+51.7%
燃料油販売計	27,615	27,660	+45	+0.2%

3. 販売と生産

(2)－②販売数量見通し(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'14年度実績	'15年度予想	増減	
石油化学製品計	3,143	3,350	+207	+6.6%
(基礎化学品)	3,096	3,300	+204	+6.6%
(機能製品計)	47	50	+3	+6.5%

(2)－③販売数量見通し(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'14年度実績	'15年度予想	増減	
潤滑油	1,048	1,210	+162	+15.5%

※海外ライセンス販売先を含む

3. 販売と生産

(2)－④石油開発生産量見通し(ガス含む)

(単位：千BOED)

	'14年度実績	'15年度予想	増減	
ノルウェー	26.2	33.8	+7.7	+29.3%
英国	2.5	4.8	+2.4	+96.4%
ベトナム	0.4	0.5	+0.1	+18.9%
生産量合計 (千BOED)	29.0	39.1	+10.1	+34.8%
生産量合計 (千BOE)	10,590	14,280	+3,690	+34.8%

(2)－⑤石炭生産量見通し

(単位：千t)

	'14年度実績	'15年度予想	増減	
エンシャム	3,456	3,390	▲66	▲1.9%
マッセルブルック	1,623	1,460	▲163	▲10.0%
ボガブライ	5,537	5,570	+33	+0.6%
タラウオンガ	658	560	▲98	▲14.9%
豪州石炭 合計	11,274	10,980	▲294	▲2.6%
マリナウ	-	1,200	+1,200	-
生産量 合計	11,274	12,180	+906	+8.0%

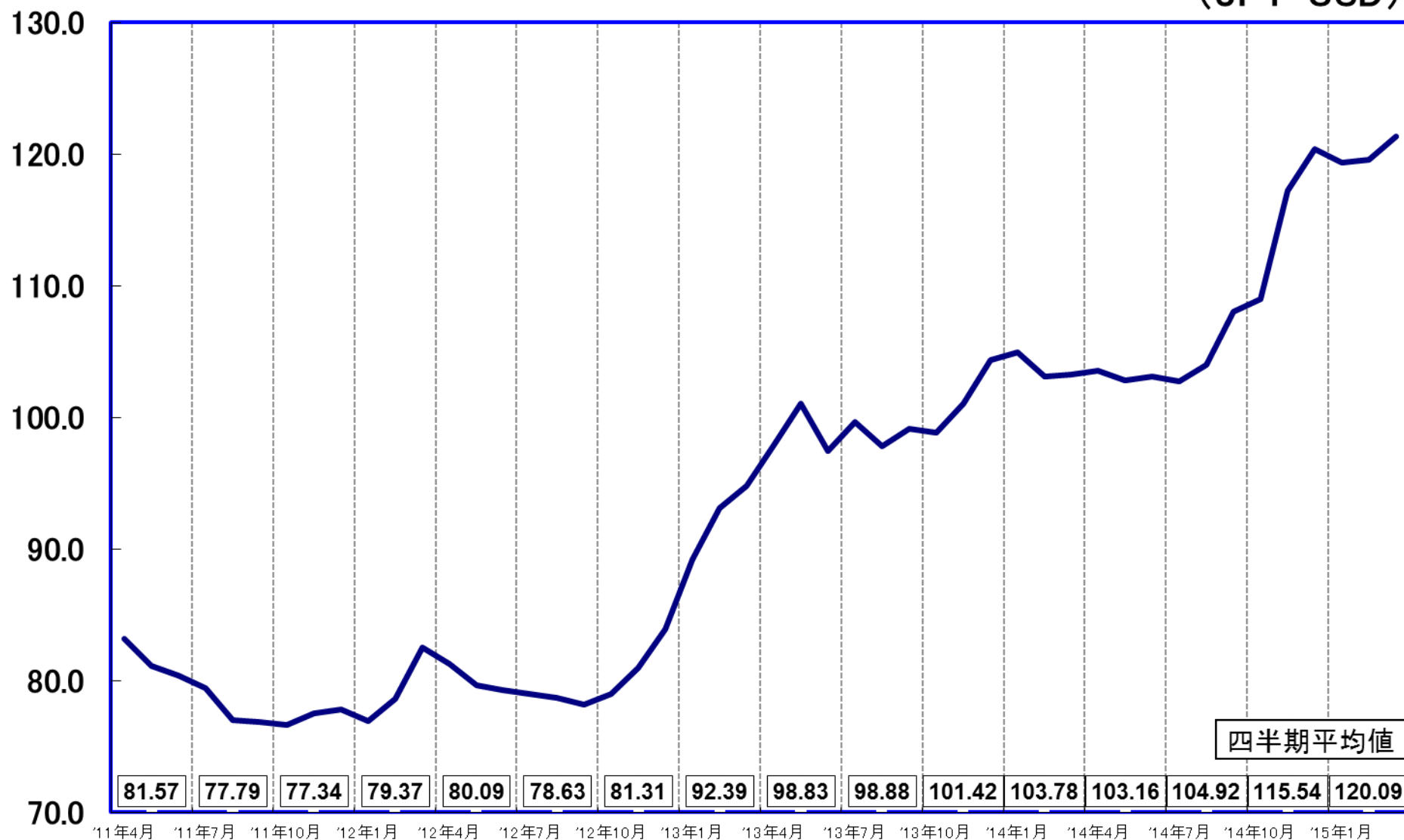
※石油開発及び石炭の生産量は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭(海外)は12月決算

4. 為替

(1)米ドル

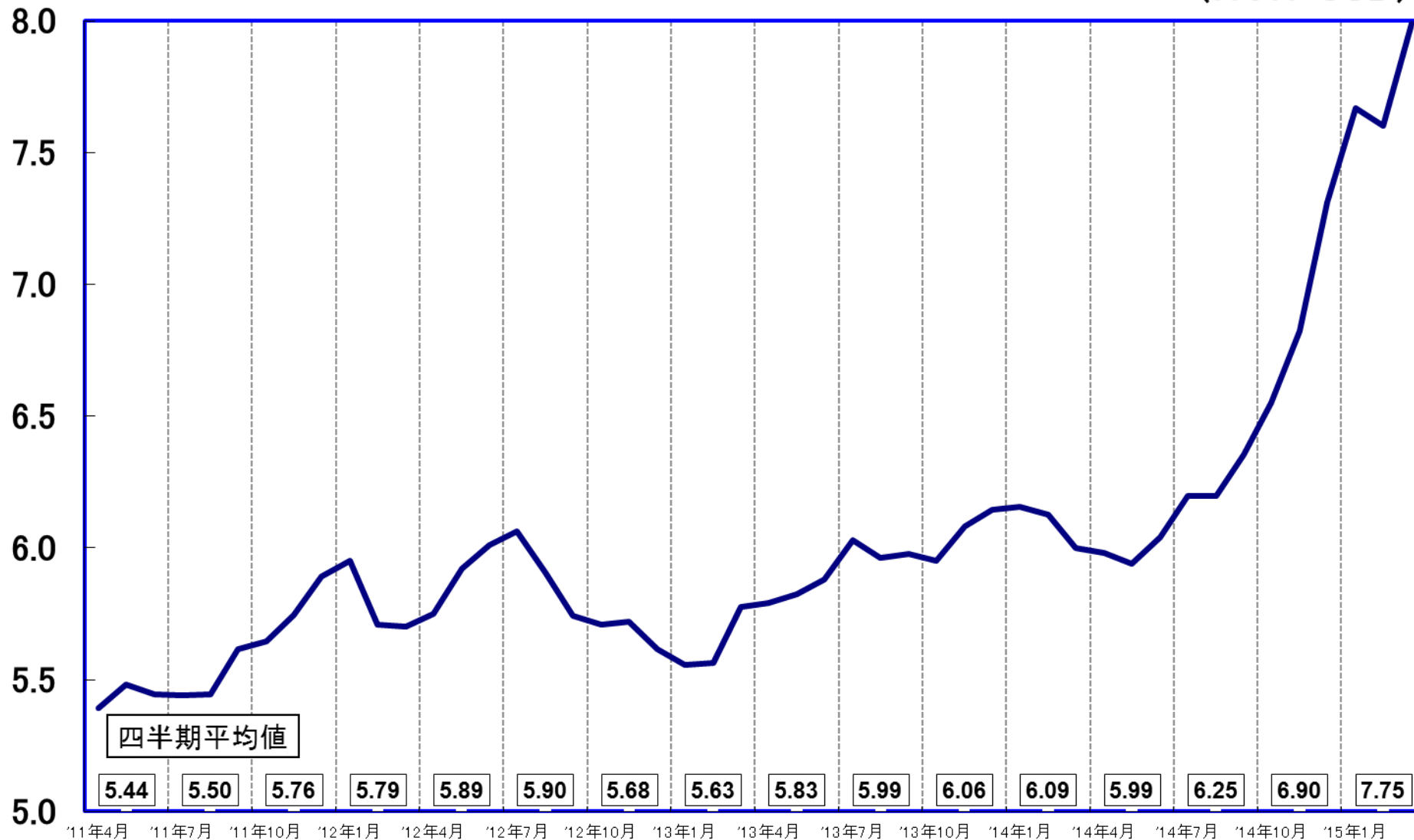
(JPY・USD)



4. 為替

(2) ノルウェークロネ

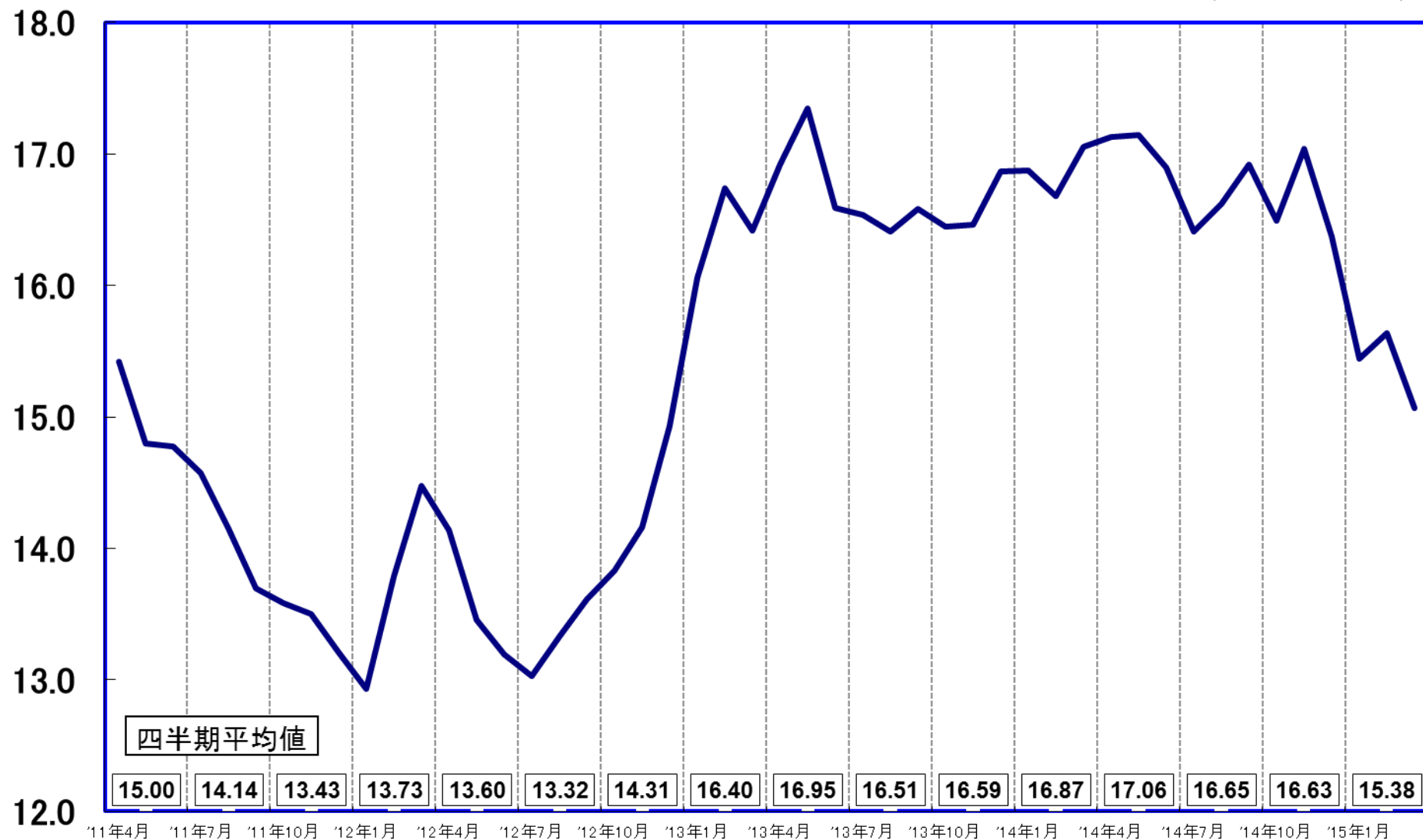
(NOK・USD)



4. 為替

(3) ノルウェークロナー

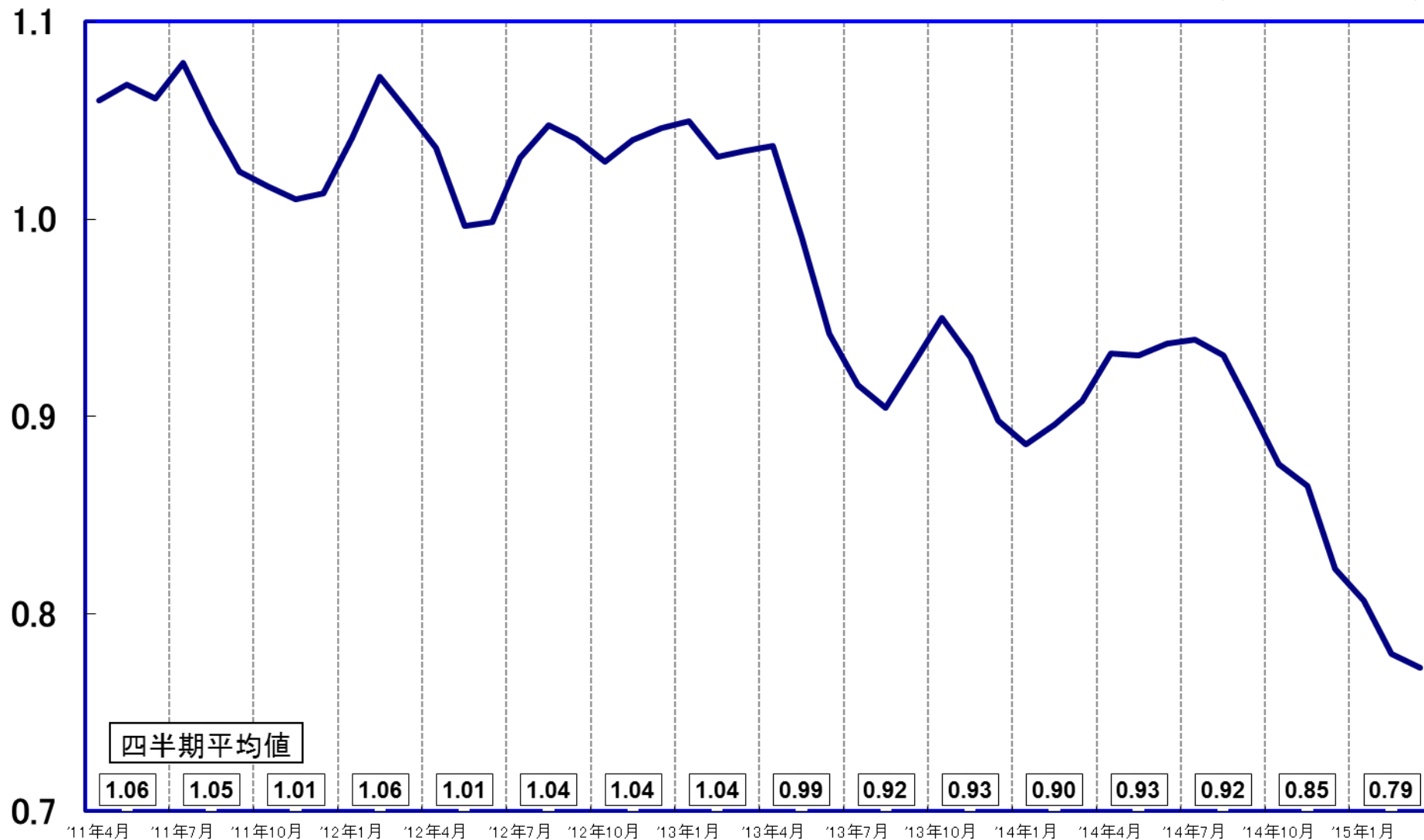
(JPY・NOK)



4. 為替

(4) オーストラリアドル

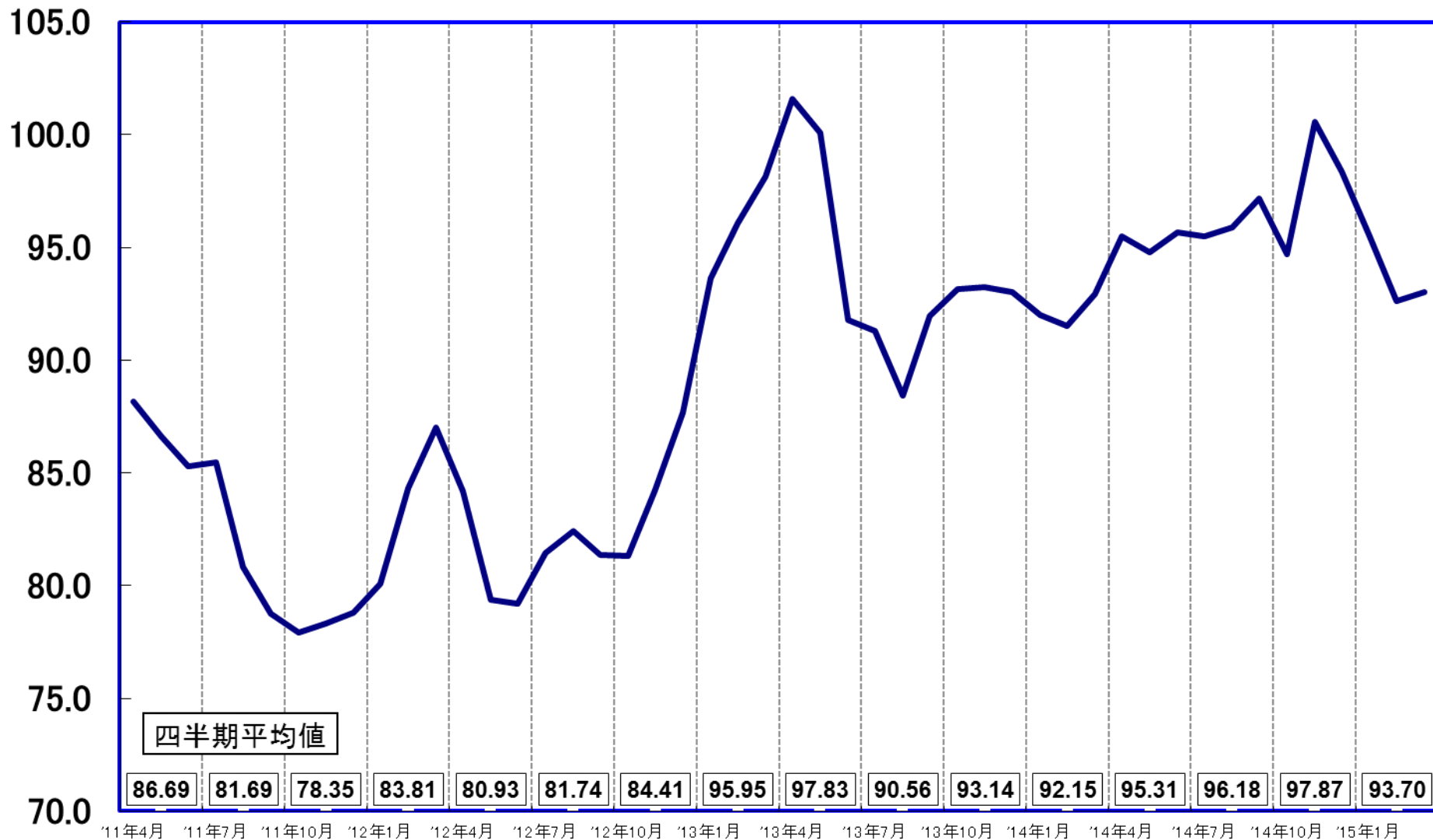
(USD・AUD)



4. 為替

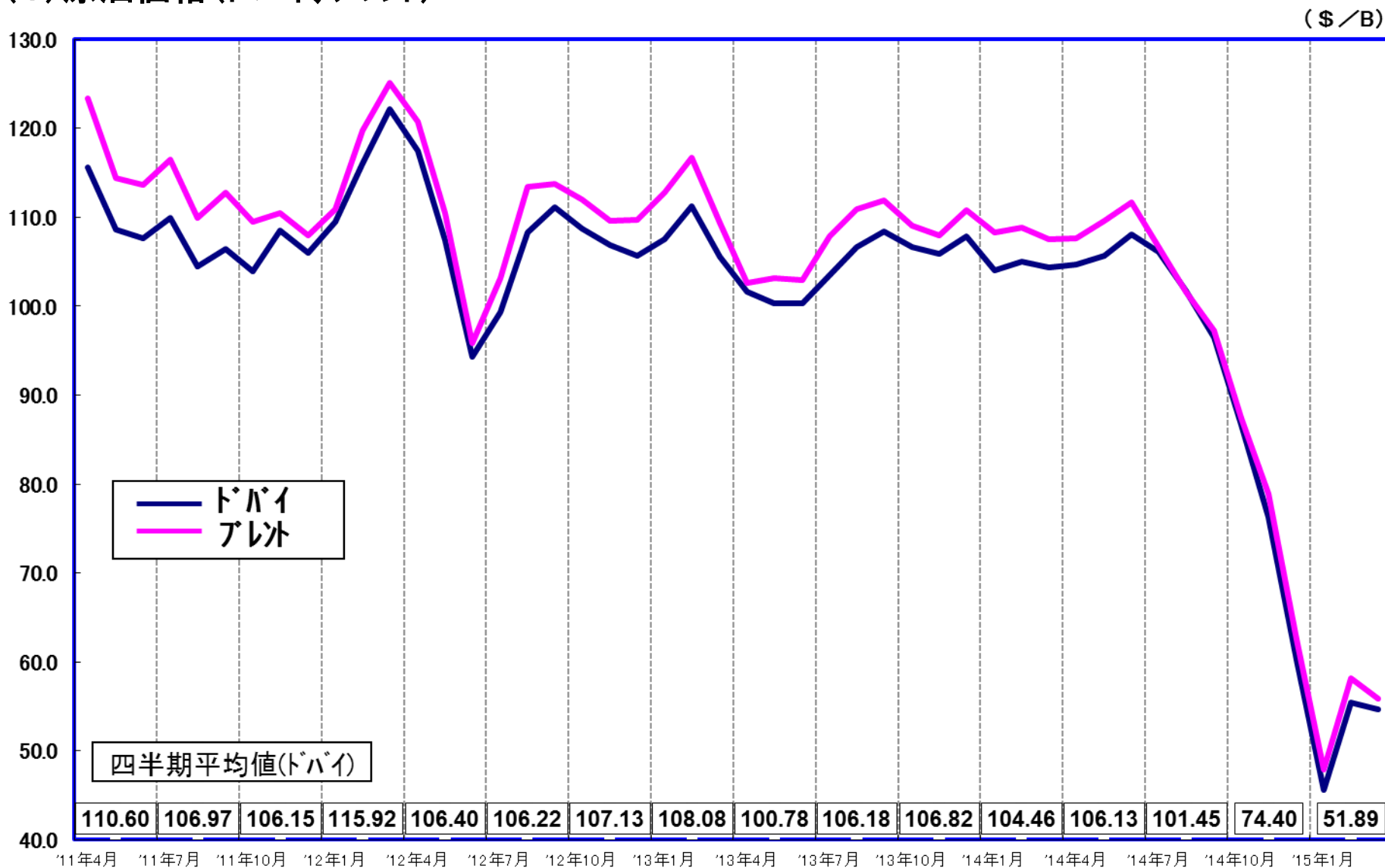
(5) オーストラリアドル

(JPY・AUD)



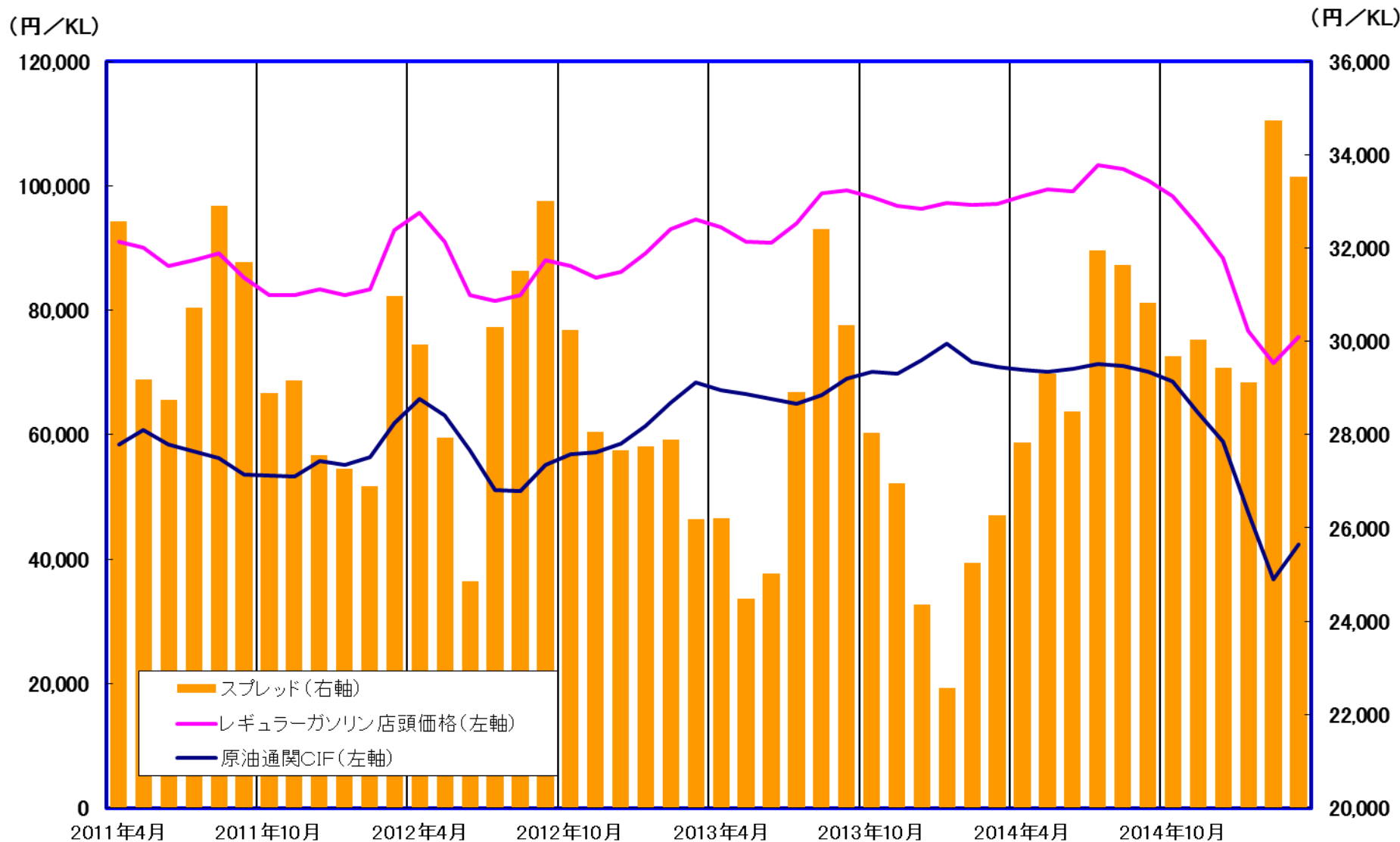
5. 市況

(1) 原油価格(ドバイ、ブレント)



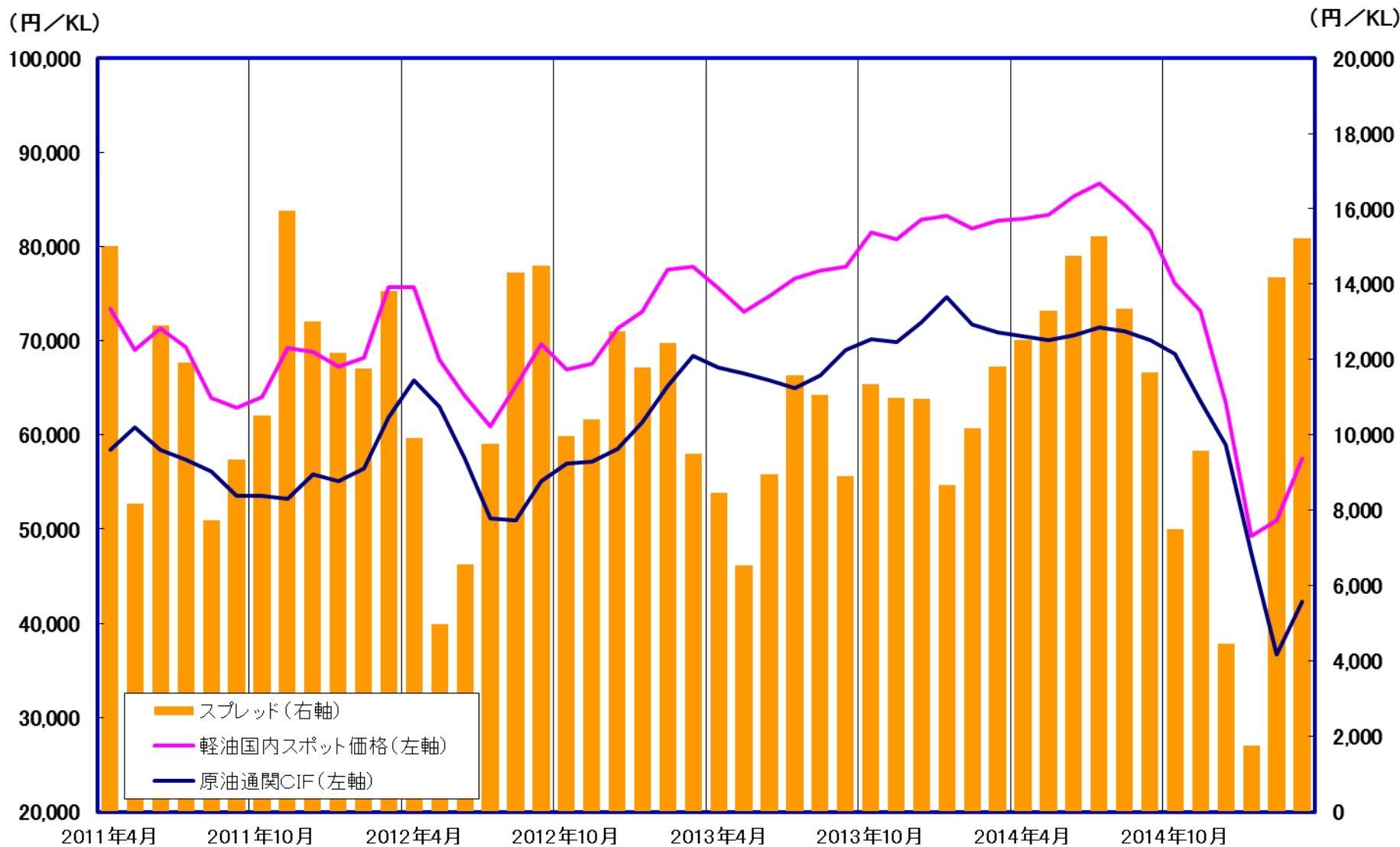
5. 市況

(2) ガソリンー原油CIF (価格推移 & スプレッド)



5. 市況

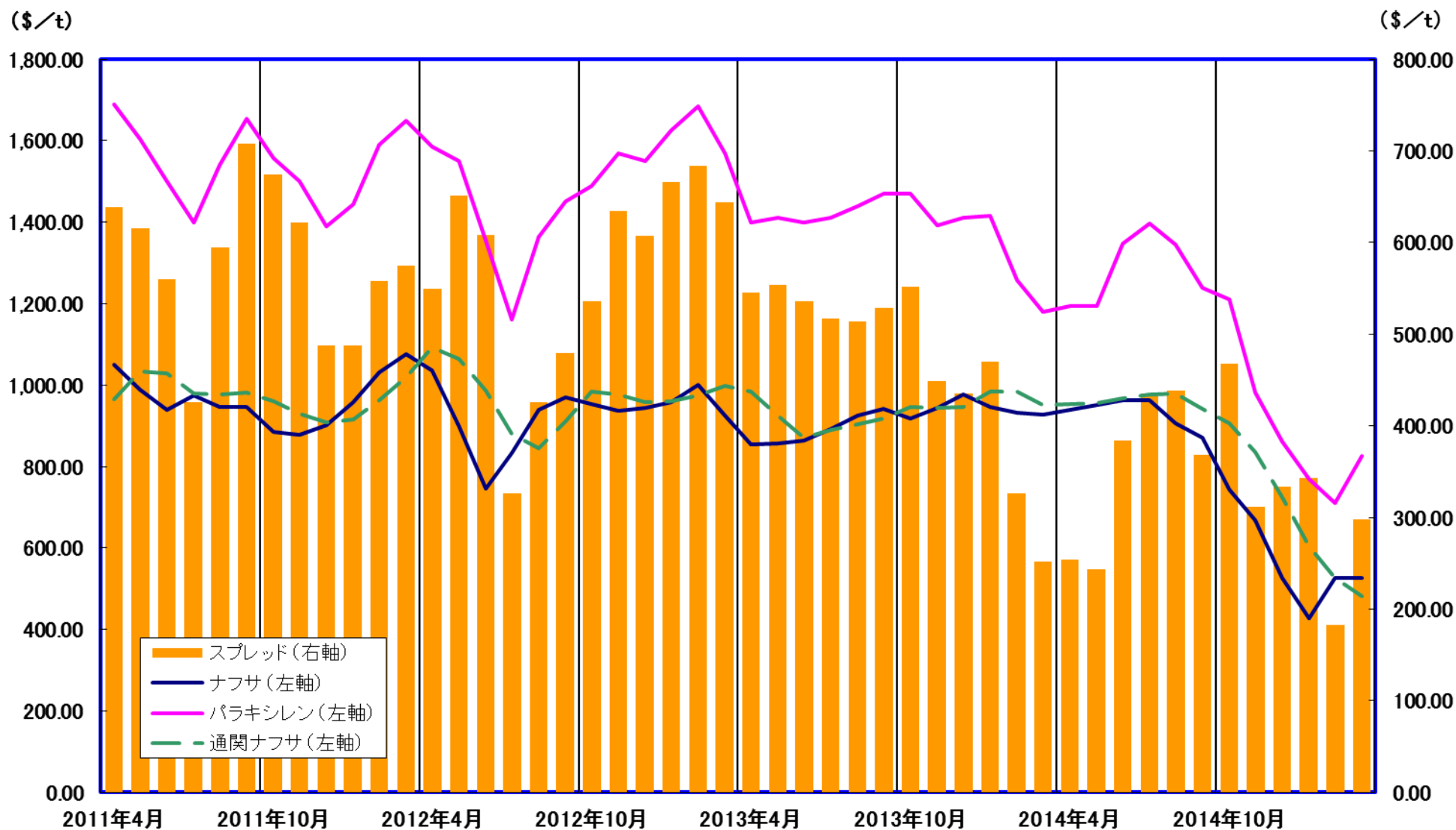
(3) 軽油－原油CIF (価格推移 & スプレッド)



5. 市況

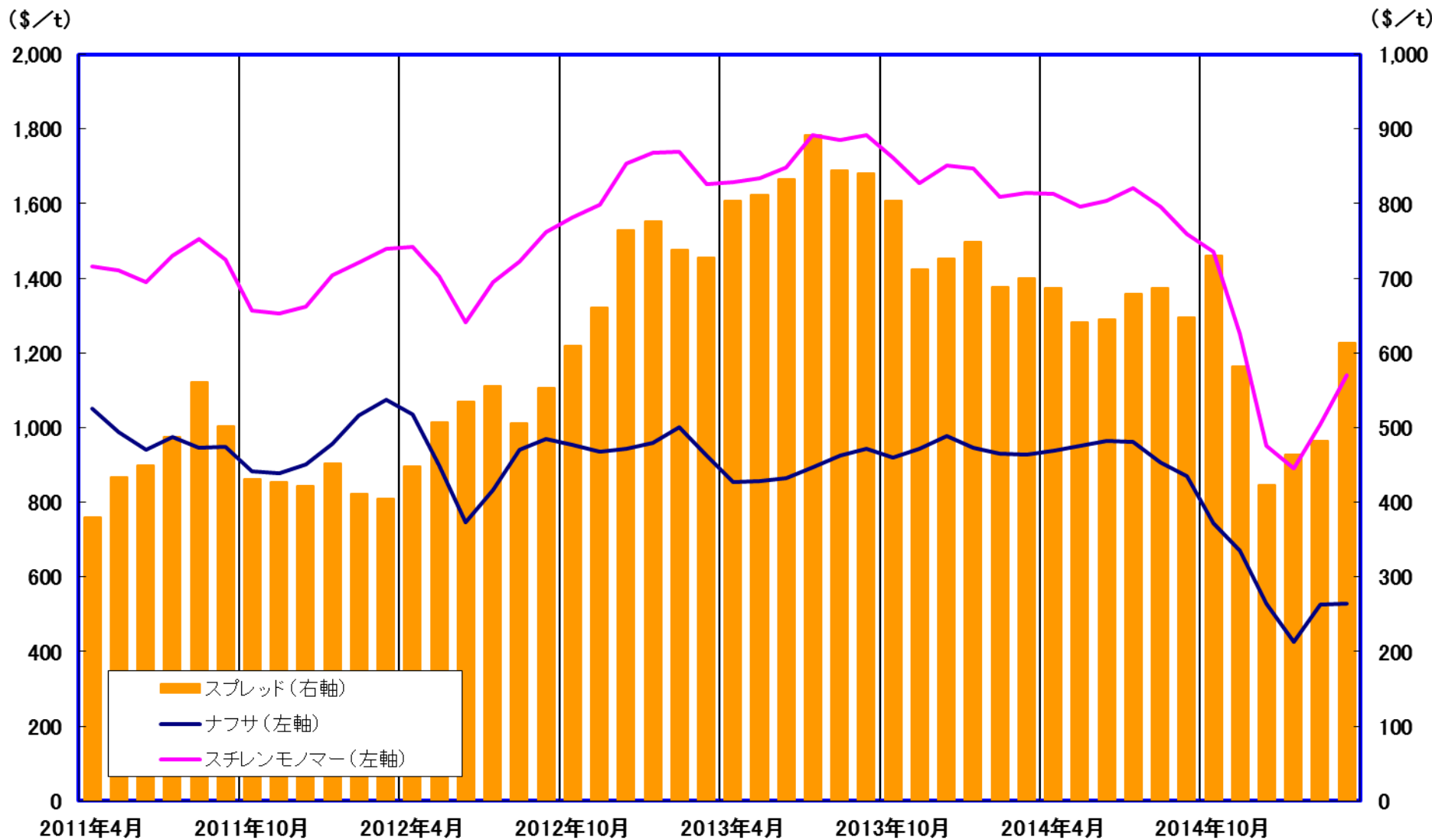


(4) パラキシレン-ナフサ(価格推移&スプレッド)

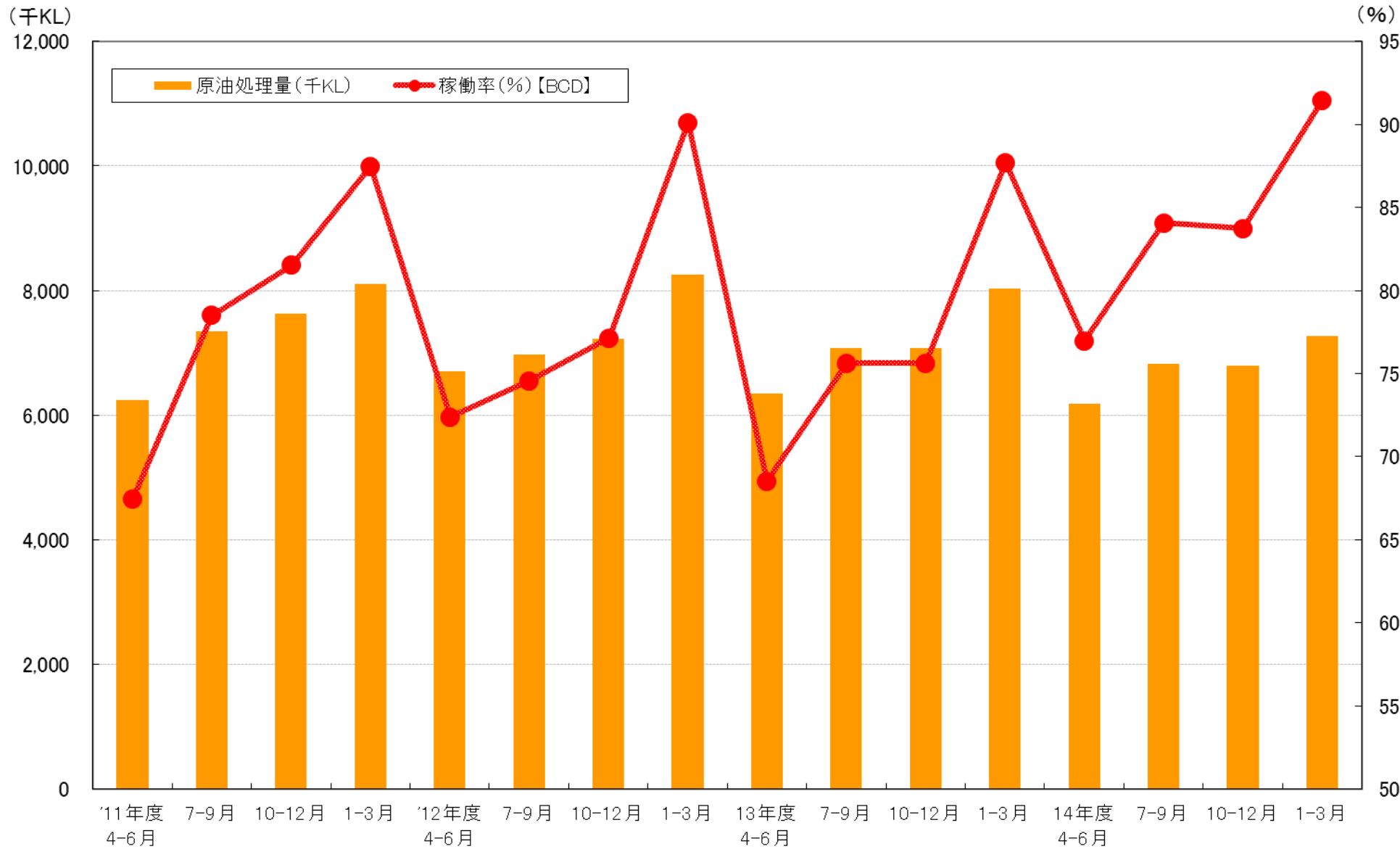


5. 市況

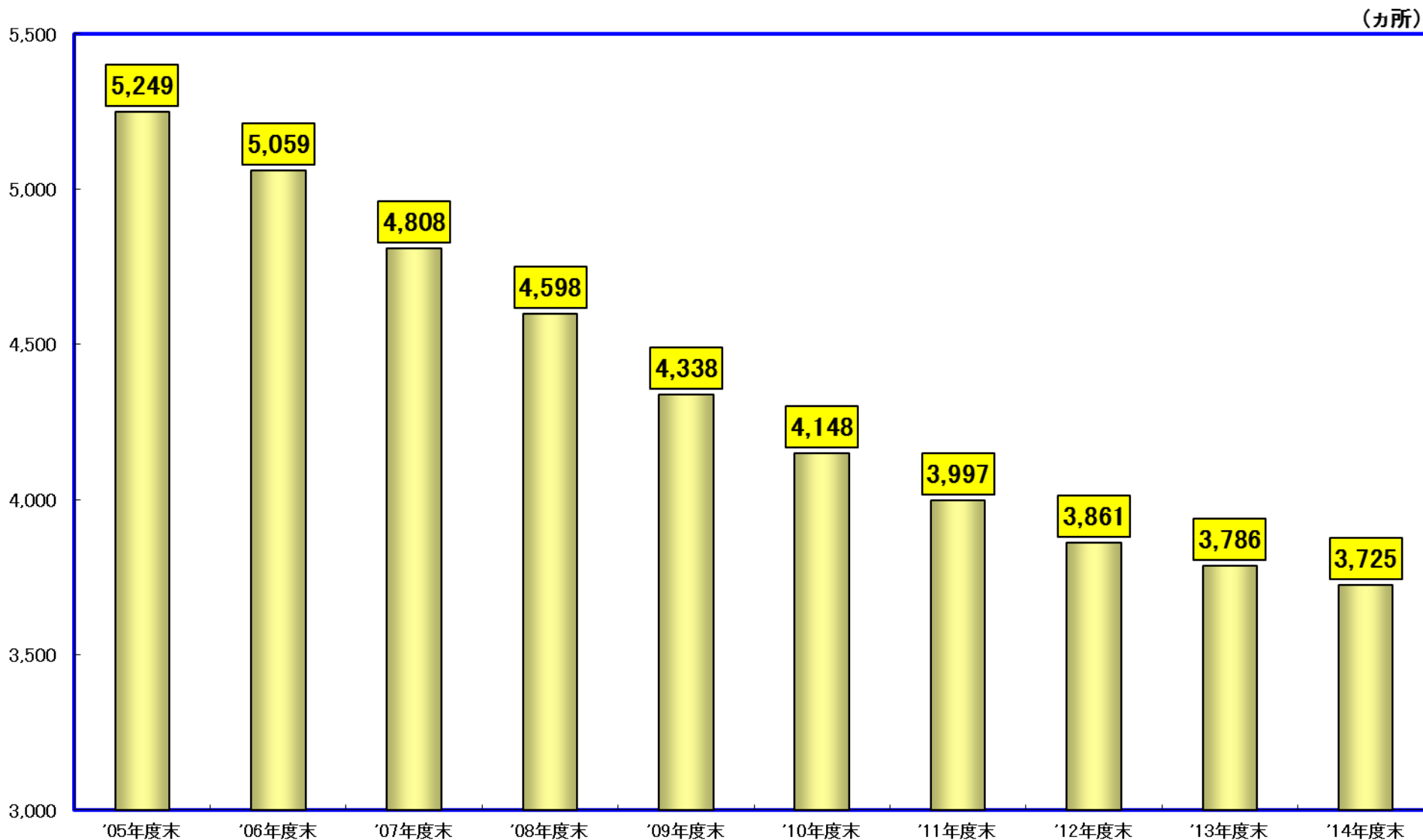
(5) スチレンモノマーナフサ(価格推移&スプレッド)



6. 製油所稼働の状況



7. SS数推移



本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

出笑